

一般質問

産廃の不法投棄対策は

法改正に基づき厳しく監視

議員(自民) 不法投棄問題は県や警察が住民と連携を強化し、地域の力を活用しつつ対策を講じるのが重要である。不法投棄一掃に向けた取り組みは、生活環境部長 ボランティア監視員を一五年度は一五〇名増員した。廃棄物処理法改正に基づきより厳しく監視や撤去指導、住民啓発等も積極的に実施する。

議員 米政策が転換され品質の良いものを安く提供できる産地づくりが重要である。地域水田農業ビジョンに位置付けられた個別農家や地域営農集団の規模拡大など安定した経営の実現に向けた県の取り組みは、



「捨て得は許さない」不法投棄防止一斉パトロール

農林水産部長 産地づくりに必要な機械・施設の整備等や担い手への土地利用集積、集落営農の組織化、法人化が進むよう支援・指導し、国の担い手経営安定対策への加入を促進する。

(ほかに、国旗に対する知事の考え方や、教員の資質の向上なども質問)

ユニバーサルデザインは

新たな組織体制で推進



議員(民清) 誰もが利用しやすいようにものづくりやまちづくり等を計画するとうユニバーサルデザイン(UD)は、積極的に取り組むべき行政課題と、思うが、考えを伺う。

保健福祉部長 一六年度保健福祉部内にUDを推進する新たな組織体制を整備して基本指針を策定するとともに、広報媒体を活用してUDの普及に努める。

議員 水源開発はダムを造ることだけではない。ハ

ツ場ダム建設基本計画の変更について、国への回答を保留し継続して精査すべきと思うが、考えを伺う。

企画部長 事業費については関係都県と精査しやむを得ないと認識し、確保水量については湯西川ダムの水量削減等で本県負担額の増高を押さえたこと等から、今般、基本計画の変更を受け入れることとした。

(ほかに、行財政改革への知事の決意、学校評価システムなども質問)

潤沼の水質浄化対策は

実践活動等を推進

議員(自民) 地域ケアシステムの取組みは市町村間に格差があり、超高齢社会を前にさらに充実すべきと考えるが、所見を伺う。

知事 市町村の積極的な取り組みを促すためケアが困難なケースの運営費補助を増額、またケアコーディネーターの資質向上のため

活動マニュアルの作成等を実施し、さらに、三級ヘルパー受講運動によりマンパワーを拡大していく。

議員 潤沼における流域住民と一体になった水質浄化対策と生活排水対策への取り組みを伺いたい。

生活環境部長 住民等と行政で組織するクリーンア

ツプひぬまネットワークを中心に水質浄化実践活動等を推進する。また浄化槽の助成制度を充実し、放流水の高度処理化や市町村設置型事業の普及促進を図り水質保全、再生に努める。

(ほかに、「桜の郷」整備事業、生涯学習への取り組みなども質問)



住民と行政が一体となって浄化に取り組む潤沼

子供の医療費無料化拡充は

一六年度は見送り

議員(共産) 知事は、少子化対策を重要な課題として予算編成をしたと述べている。それなら、なぜ、子供の医療費無料化拡充に踏み切らなかったのか、所見を伺いたい。

知事 厳しい財政状況が続いており、一六年度は乳幼児医療費助成制度について、対象年齢の拡大、自己負担の撤廃を見送らざるを得なかった。

議員 ハツ場・湯西川ダムの利水分は、人口想定の見直し、五年間の給水実績等を見ても必要としない。よってダム建設中止を国に求めてはと思うが見解は。

知事 供給が必要を上回ると見込まれている水量は、政策水量として確保し



ておく必要がある。従ってダムは、本県にとって必要不可欠な施設と考えるので、ダム建設の中止を求める考えはない。

(ほかに、農業振興策、東海第二発電所でのプルサーマル計画なども質問)

魅力ある茨城の将来像は

世界をリードする産業拠点



土曜日における親子の体験活動状況

議員(自民) 地域間競争に勝つには、若者が郷土に誇りと魅力を感じる茨城づくりを進める必要がある。若者へのメッセージとなる茨城の将来像を伺う。

知事 本県は限らない発展可能性にあふれ、世界をリードする産業拠点になれる県となる。若い世代には、その力を存分に発揮し、郷土を大きく飛躍させてくれることを期待している。

議員 親子の体験活動

は有意義であるが、現実的に親が関われる機会はずしも多くはない。土・日における子ども居場所づくりへの取組みを伺う。

教育長 国が新たに実施する「地域子ども教室推進事業」を活用し、学校や公民館などにおいて、地域の大人達とともに活動ができる拠点の整備を推進する。

(ほかに、つくばエクスプレスの土浦延伸、青少年の健全育成、家庭と仕事の両立を図る雇用環境の整備なども質問)

県西の公立病院の統合は

地元まともれば支援

議員(自民) 今後の公立大病院の医療提供のあり方という観点から県西総合病院と下館市民病院を早期統合すべき。所見を伺う。

知事 統合することになれば地域医療の充実に大きく貢献するものと考えている。地元市町村の間で、統合に向けて意思統一できるのであれば、実現に向けて最大限の支援を行いたい。

議員 常陸那珂港を日本の中核国際港湾とするためにも、国道五〇号の栃木県境から岩瀬までのバイパス整備、及び北関東自動車道の全線開通を早期に実現すべきでは。

知事 本県経済の活性化を図るためにも、国道五〇号や北

関東自動車道、常陸那珂港の早期整備と利用促進が必要。今後とも重点的な整備に努め、国や道路公団に強く働きかけていく。

(ほかに、米政策改革に向けた土地改良区の取り組み、高校生の制服指導の徹底なども質問)

